

アクティブ・ラーニングのためのタブレットPCの活用はどうあればよいか

主催：富山大学人間発達科学部 附属人間発達科学研究実践総合センター 学習環境研究部門

後援：日本デジタル教科書学会 富山県教育工学研究会



学習指導要領改訂に向けての文部科学大臣による諮問文にもあるとおり、授業の質的転換が求められています。今後は「どのように学ぶか」という学びの質や深まりが一層重視されると考えられます。そのため、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶアクティブ・ラーニングに対する関心も高まっています。

また、教育現場へのタブレットPCの導入も進められています。タブレットPC等のICTをアクティブ・ラーニングのために効果的に活用するには、どのように授業をデザインして、どのような場面で活用すればよいのかを十分に考える必要があります。

そこで、札幌市立稲穂小学校の山田秀哉氏を講師にお招きして講演会を開催いたします。これからの時代に必要となる学びのために、タブレットPC等のICTをどのように活用すればよいのかについて、様々な授業実践例を基にお話をさせていただきます。

小中学校等の先生方、教員を目指す学生の皆さん、タブレットPCの活用やアクティブ・ラーニングに関心のある方のご参加をお待ちしております。

講師 札幌市立稲穂小学校 教諭 山田 秀哉 氏



小学校におけるICT活用や児童の表現力育成に関わる先進的な取組を進め、タブレットPC等のICT活用、表現力育成のための指導法、効果的な授業デザインの方法等について、全国で講演をされています。

さらに、D-Projectではプレゼン力育成プロジェクトのリーダーをされたり、伝えるチカラプロジェクトでは授業実践例を紹介されたりと多方面でご活躍です。

- ・日本デジタル教科書学会副会長
- ・Apple Distinguished Educator
- ・Intel® Teach Program Master Teacher
- ・北海道メディア教育研究会事務局



【日 時】 平成27年12月5日（土）

14:00～16:30（受付13:30～）

【会 場】 富山大学人間発達科学部2棟1階211教室
（富山市五福3190）

【参加費】 無 料

【準備等】 WiFi接続可能なタブレットPC, ノートPCを持参いただいた方は講演内容の共有等が可能となります。WiFi接続環境はこちらで用意いたします。（タブレットPC, ノートPCがなくても、もちろんご参加いただけます。）



申込み方法

参加を希望される方は、電子メール等で、12月3日までに下の連絡先にお名前とご所属をお知らせください。不明な点等につきましても、お気軽にお問い合わせください。

<連絡先> 電子メール hasegawa@edu.u-toyama.ac.jp TEL・FAX 076-445-6381
〒930-8555 富山市五福3190 富山大学人間発達科学部

附属人間発達科学研究実践総合センター 長谷川 春生